

令和4年度「地域と共にある学校づくり」に関するアンケート調査結果

地域学校協働活動推進員等について

回答数…194人

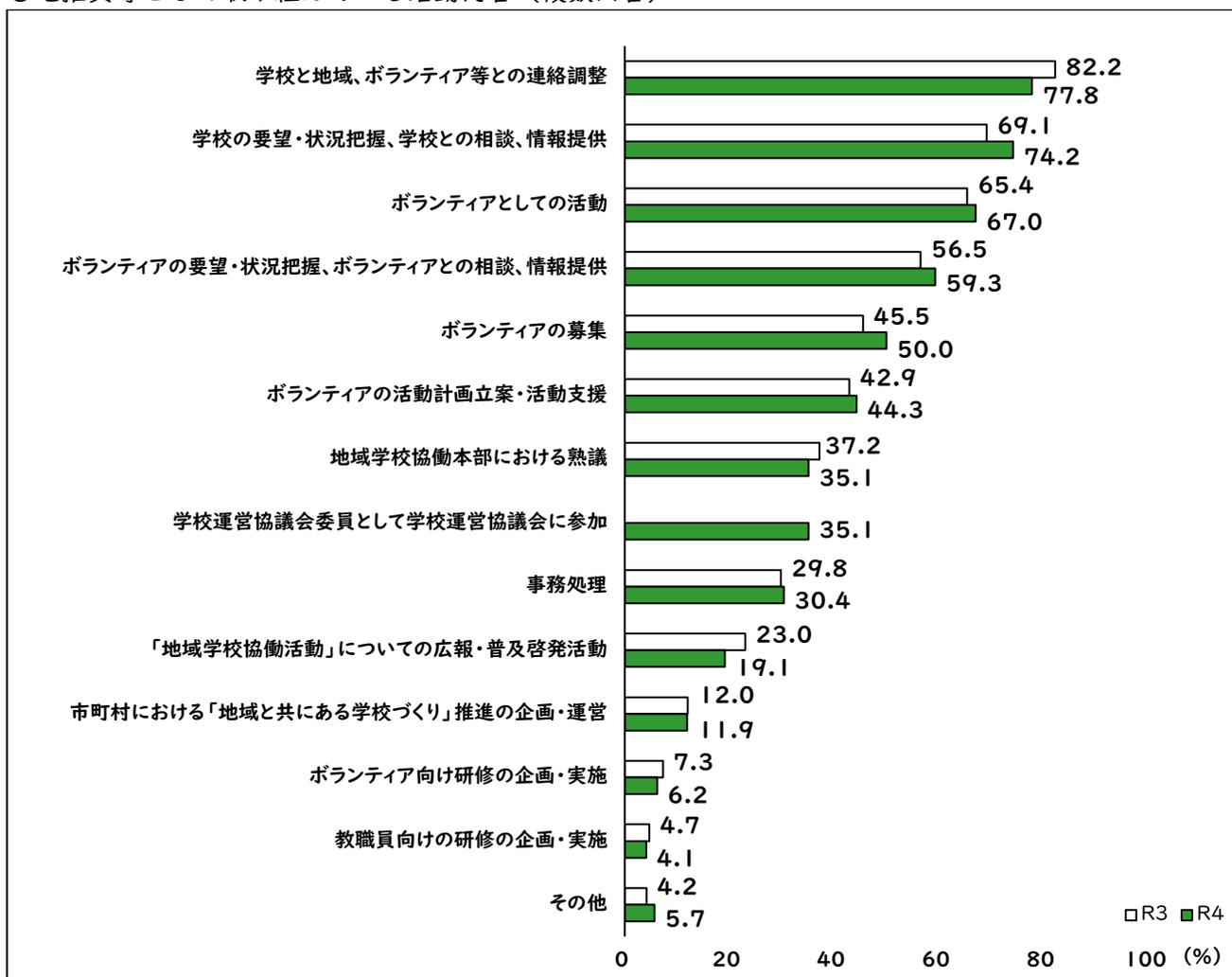
地域学校協働活動推進員等の現状について

(昨年度)

- (1) 1か月間の平均活動時間数 9.6時間 (9.6時間) ※県平均値
 (2) 1か月間の平均学校訪問回数 3.7回 (3.7回) ※県平均値

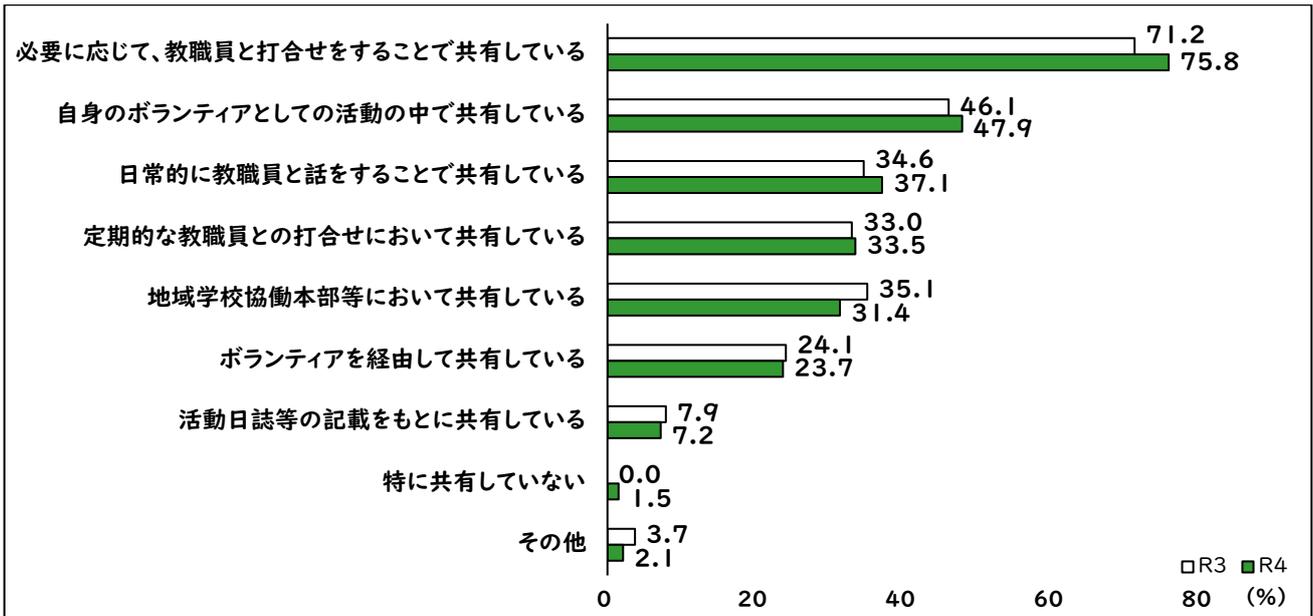
地域学校協働活動推進員等としての活動について

◎地推員等として取り組んでいる活動内容（複数回答）



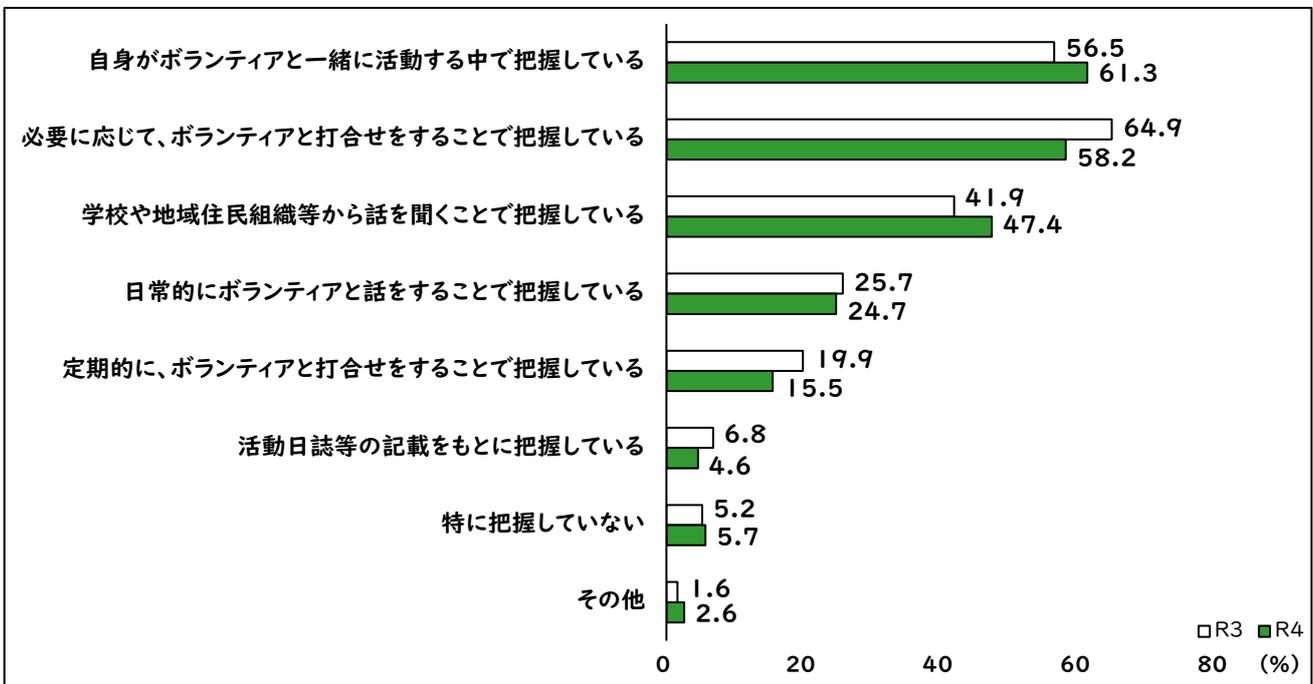
◎地推員等として取り組んでいる活動内容は、自身の「ボランティアとしての活動」だけではなく、「学校と地域、ボランティア等との連絡調整」、「学校の要望・状況把握、学校との相談、情報提供」、「ボランティアの要望・状況把握、ボランティアとの相談、情報提供」、「ボランティアの募集」など多岐にわたっています。

◎学校との情報共有の方法（複数回答）



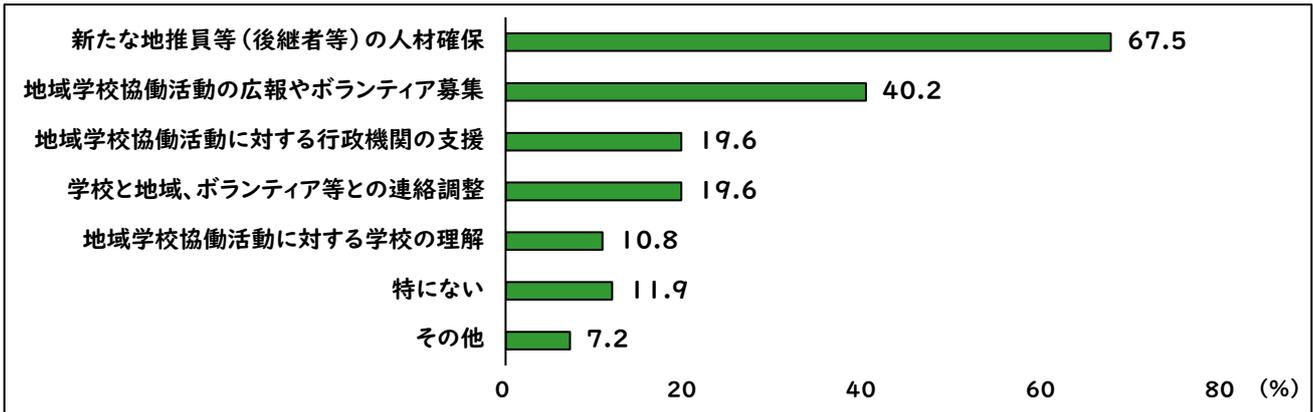
○「必要に応じて、教職員と打合せをすることで情報を共有している」の割合は、昨年度同様に最も高いですが、「自身のボランティアとしての活動の中で共有している」、「日常的に教職員と話をすることで共有している」、「定期的な教職員との打ち合わせにおいて共有している」の割合が増加しています。

◎ボランティアの要望把握の方法（複数回答）



○「自身がボランティアと一緒に活動する中で把握している」、「必要に応じて、ボランティアと打合せをすることで把握している」の割合は、昨年度同様に高いですが、「学校や地域住民組織等から話を聞くことで把握している」の割合が増加しています。

◎地推員等として活動に取り組もうえて、困難に感じていること（複数回答）



○「新たな地推員等（後継者等）の人材確保」、「地域学校協働活動の広報やボランティアの募集」について困難さを感じている地推員等の方が多いです。

地域学校協働活動を推進するためには、地域学校協働活動推進員等の役割が重要です。学校と地域をつなぐ活動を引き続きお願いいたします。

- 自らのボランティアとしての活動だけでなく、学校と地域（ボランティア等）をつなぐ活動は、地推員等の基本的かつ重要な役割です。地域と学校とを上手につないでいただき、学校の立場を代弁していただくとともに、地域人材の思いも理解していただきますようお願いいたします。
- 新型コロナウイルス感染症の影響によって、中止せざるを得なかった活動が少しずつ再開され始めています。地域学校協働本部及び学校運営協議会の場だけでなく、教職員やボランティアと日常的に連絡を取り合って交流し、活動をコーディネートしていただきますようお願いいたします。
- 県教育委員会としては、地推員等に様々な活動や人材等をつないでいただき、多様な地域学校協働活動を生み出していきたいと考えております。そのためにも、多くの地域の方に地域学校協働活動に参加していただけるように今後とも啓発してまいります。
- 人と人とのつながりを広げるためにも、PTAや地域などへの地域学校協働活動の広報・普及啓発活動をSNS等も活用しながら積極的に進めていただくように今後ともお願いします。

その他（地域学校協働活動推進員等の意見）

- 地推員等の引き継ぎ等やボランティアの募集が難しく、今後の活動を継続していけるか心配しています。多くの地域の方や保護者の方に活動に関わっていただけるように声をかけています。
- 地域学校協働活動について保護者や地域住民に対して広報したり、啓発したりしていくことの必要性を感じています。
- 地域学校協働活動を進めるにあたって、学校と地域が対等な立場で熟議し、学校の実情と地域の思いを定期的にすり合わせ、連携しながら活動していくことが重要だと感じています。
- 地域学校協働活動を通じて、地域が学校を支援するだけでなく、学校とともに地域を中心とした取組を行い、地域の教育力を向上していきたいです。
- 地域で各々活動されている個人や団体等の取組と学校の要望をうまくつなげていきたいです。
- 他の地域学校協働本部と交流できる機会を大切にしたり、研修等に積極的に参加したりして、今後の活動に生かしていきたいと感じています。